

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名称		保育士確保支援事業費[保育士確保支援事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費	事業番号	3	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	保育			課			管理・給付			係	課長名	関田 孝志
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4			
【施策名】 児童福祉の推進								総合計画書 (ページ)	59			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	認可保育園、認定こども園、小規模保育施設、認証保育所					22園 → 認可保育園、認定こども園、小規模保育施設、認証保育所の施設数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
市内における保育人材の確保及び定着					→ 市内保育等施設における利用定員に対する受入れの増加							
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
保育士集団面接会実施に対する負担金の交付。 保育士等宿舍借り上げ支援事業補助金の交付。 保育士等駐車場確保事業補助金の交付。 保育補助者雇上強化事業補助金の交付。 保育士採用推進助成金の交付。 保育士等キャリアアップ補助金の交付。					→ 7事業で補助金等を交付した。							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	園	-	-	23		/				
	成果指標	②の数値	人	-	-	2,307						
	目 標	②の目標値		人			2,307					
目標値設定の考え方 保育士の確保支援のための補助金を交付し、市内保育施設の受入れの増加を図る。												
活動指標	③の数値	事業	-	-	7							
3 経費	事業費(実績)		円	-	-	123,909,509		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	-	-	2,406,148						
		特定財源(国・都・他)	円	-	-	121,503,361						
	(うち受益者負担)		円	-	-	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	-	-	1.0					
		所要人数(再任用)		人	-	-	0.0					
		職員人件費(再任用以外)		円	-	-	8,250,000					
職員人件費(再任用)		円	-	-	0							
事業費+人件費		円	-	-	123,909,509							
4 環境変化等	(1) 開始年度		2021 年度									
	(2) 環境の変化 宿舍借り上げ支援事業における国補助基準額が1人当たり月額82000円から58000円に減額している。 保育補助者雇上強化事業における国補助基準額が、新子育て安心プランの採択を受けたことにより、増加している。											

事業名称	保育士確保支援事業費[保育士確保支援事業]			
担当部署・課長名	保育	課	管理・給付	係 課長名 関田 孝志

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 議会及び市内施設からは保育士の人材確保についての施策及び保育士の処遇の改善についての質問が増加している状況である。慢性的な保育士不足のため、運営事業者の中でも、保育人材の確保と処遇の改善は課題となっている。			
	6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)		
<input type="checkbox"/> 取り組んだ		取組手法：		
<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )		
7 課題	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 年度内に補助制度の改正や新設が複数件発生するため、その内容の正確な把握と、施設への説明。			
	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。			
8 施策貢献状況	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 慢性的な保育士不足が、待機児童解消の妨げになっている状況であるため、保育士確保に資する補助について活用を促す。			
	8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 児童福祉の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名( )			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 国や都と連絡を密にとり、補助制度の正確な把握に努める。市の事業で活用可能な補助があれば、適切に利用し、施設にも活用を促す。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 定期的に事務説明会を開催し、保育施設の事務負担を軽減させる。市内の保育施設に勤務する保育士が継続的に勤められるように、直接的な補助制度を充実させる。併せて、ハローワーク等と協力し、市内の保育施設に勤務できる保育士確保を推進する。			